

知事コメント

令和3年3月24日(水)

本日、県内で68名もの新型コロナウイルス感染症陽性者が確認されました。県独自の緊急事態宣言が終了して、まだ1ヶ月も経っていませんが、宣言終了時点と比べて、1週間あたりの陽性者数は3倍近くに増え続けています。感染の再拡大を回避するための「再発警戒段階」と位置づけて警戒を呼びかけているところですが、予想以上に大きなリバウンドとなっています。

グラフをご覧ください。宣言終了後の感染拡大のスピードが異常に上昇していることが分かります。

第1週目に23%だった上昇率は、次の週に42%、その次の週には61%となるなど、急拡大している状況です。このまま年度末・年度初めに突入すると、それだけ人の動き、流れがあるところから、とんでもない数の新規感染者数となりかねません。

次のグラフをご覧ください。推定感染源が飲食の陽性者数の推移についても、宣言期間中には週に10人台から20人台と推移し、抑えられていた状況から75人に増えるなど、急激にリバウンドしています。

最近の感染拡大の特徴としましては、やはり宴会など飲食の場面が圧倒的に多くなっています。

年齢別の陽性者数をみてみますと、20代から40代の若い年代が多くなっており、全体の約62%を占めております。典型的な流行の立ち上がりの様相を呈しております。若年層は軽症であることが多いため、入院治療が必要な方は少なく、医療機関への負担もまだ少ないところです。しかし、今後、その感染が高齢者層に広がってしまうと、医療機関の負担が一気に増し、流行も長期化してしまうことを、我々はこれまでも経験してまいりました。

なお、米軍基地内においても感染者が増加傾向にあります。ここも気にかかるところですが、米軍基地内と交流のある方、あるいはご家族が仕事に従事している方は、体調管理などにご注意いただきたいと思えます。

今、私たちが最もやるべきことは明らかです。コロナ禍における会食のルールをしっかりと守っていくことです。

飲酒を伴う会食、つまり「飲み会」が最も感染リスクが高いことについても、我々は既にこれまでも色々な情報から知ってきているはずですが、ですから、賢い楽しみ方が、感染防止にしっかり役立つということ、今一度、確認していただければ、と思います。

当面は歓送迎会など、ホームパーティも含め、宴会、5人以上での飲み会は、自粛をお願いします。

飲み会への参加を避けていても、職場の上司や先輩、取引先の会社などから、飲み会に誘われた場合は、なかなか断りづらいものです。関連会社を誘って開催した宴会でクラスターとなった事例も発生しています。

職場ぐるみで感染拡大を防ぐためにも、職場の代表者や幹部職員の強いリーダーシップと責任感が重要となります。

若い方達には、年上の方々が、その行動規範をしっかりと示してください。

模合などで久しぶりに会う同級生と、大勢でワイワイ騒ぎたい気持ちは痛いほど分かります。でもその会食の人数が多いほど、時間が長くなるほど、感染リスクは上昇します。

会食は4人以下・2時間以内、できるだけ同居家族などいつも一緒にいる人同士で行ってください。

4人以下だからだと、週に何度も飲み会に参加して感染したという事例も確認されています。お酒が入る場面では常に注意をしていたきたいと思います。

短時間でも、おしゃべりをする際には、マスクやハンカチ等を利用して、飛沫が飛散しないよう、心がけてください。

感染のパターンは3つです。「接触感染」「飛沫感染」「マイクロ飛沫感染」です。マスクを着用する、手指の消毒をする、うがいをする、換気に気をつける、人と人との空間的な距離を空ける、これまでも皆さまにやってきていただいていることを、更にしっかりと実行してください。どの場においても、その対策が重要となっています。

県では、流行の早期覚知や県民不安の解消のため、PCR検査体制の拡充を図っております。県をまたいで移動する方々だけではなく、飲み会が続くなど、感染リスクが高くなる場面に参加した方々など、少しでも不安に思われる方は、是非お早めに、安価で誰でも受け

られるPCR検査を受検してください。

春休みを利用して帰省をした学生さんなどは、検査を受けて安心してオジイ、オバアに会うようにしてください。ご家族の方も、県外から戻られたご家族にPCR検査受検を勧めていただければと思います。

また、県では、繁華街における感染対策の状況を確認するため、3月26日(金)の夕方以降、那覇市や沖縄市などの飲食店への巡回活動を実施してまいります。私も巡回活動に参加いたします。

この1年間の経験から、現在の状況が次の流行拡大の入口にさしかかっているということ、多くの方々が気づいていらっしゃると思います。

今、県民の皆さまの協力が得られなければ、第4波にそのまま突入し、今後、強い措置も、また検討せざるを得ない状況になるかもしれません。

「自分一人くらい、この場くらい、協力しなくても」という考え方をされる方もいるかもしれませんが、どの場面であってもお一人お一人が、事業者1社1社が、できる範囲で感染対策に協力していただくことが、必要不可欠です。

そうでなければ、安全安心の島を構築することもできませんし、経済をしっかりと回していくこともできなくなってしまいます。

皆で一丸となって頑張ってください。さらなるご協力をよろしくお願いいたします。